

## 総題 “私たちの神”

教団青年部

2012. 2/18~2/24

第8課	題：被造物への配慮	執筆者：茂木加織
-----	-----------	----------

- 今週のポイント
  - ① 神から預かっているすべての賜物の管理者として、地球を管理する義務がある
  - ② セブンスデー・アドベンチストとして、被造物を尊び、世界資源の消費を抑制し、自分の必要を再評価し、生物の尊厳を再確認することを提唱している
  - ③ 安息日を守ることが、与えられた環境を守ることにもつながる
  
- 用語解説
  - ① 互惠——特別の恩恵や利益などを、互いに与え合うこと  
ここでは、人と環境の間関係を述べている  
神は人に、一方的に自分の欲しいものを奪い取るために、素晴らしい環境を与えたのではなく、その環境を養うためにも与えられたことを述べている
  - ② 搾取——語源的には、乳や草木の汁をしぼりとることを意味することから、本来、他人のものになるはずのものを自分のものにするを指す  
人の欲は、とどまる所がなく、安息日によって、すべてを休ませることをしないと人が疲れるだけでなく、環境への影響も大きなものとなる
  
- ディスカッションのためのテーマ
  - ① 神は、御自分のつくられたものをどのようにおさめるよう、わたしたちにゆだねられたのでしょうか。
  - ② 大きな震災を機に、もう一度、環境に対しての考え方を一人一人をよく考えるよう、ゆだねられている中、個人として、取り組むことの出来る、環境への配慮とはどのようなことでしょうか。
  - ③ 出エジプト記 20 章 8 節から 11 節の御言葉を読んでください。ここで神は、安息日に、わたしたちだけでなく、与えられている人や生き物にも、安息日を与えておられますが、どうして神はこの言葉を聞いた人だけでなく、その周りの人や生き物にも、安息日を与えようとしているのでしょうか。